

前期

# アクロス 歴史文化カレッジ

## 特別講義

歴史文化カレッジ開校式と兼ねて、大東歴史の伝道師、天野忠幸先生が講演します。  
 昨年のリクエストが多かった、大東の戦争遺跡について小林義孝氏が講演します。

5月17日(日) 三好長慶と松永久秀の関係 天野 忠幸(天理大学)  
 4%の戦争—大東の戦争と戦争遺跡 小林 義孝(摂河泉地域文化研究所)

午後1時30分～ 受講料 600円

第2日曜  
コース

## 北河内の古墳と古墳群

百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に選定されて、各地の古墳と古墳群に関心が集まっています。大東市を中心とする北河内地域にも個性的な古墳と古墳群が多く分布しています。このコースでは多様な角度から古墳を分析し、この地域の古墳時代の特性について考えます。

- 5月10日 大阪の古墳と古墳群  
廣瀬 時習(近つ飛鳥博物館)
- 6月14日 ささら(讃良)の古墳  
實盛 良彦(四條畷市教育委員会)
- 7月12日 堂山古墳とその世界  
黒田 淳(大東市教育委員会)
- 8月9日 河内馬飼と韓国の前方後円墳  
田中 清美(帝塚山学院大学講師)
- 9月13日 石の宝殿と北河内の終末期古墳  
濱田 延充(考古学研究会全国委員)

午後2時～4時

初回一括 2,500円 1回のみ600円

第4土曜  
コース

## 河内人の生活文化

江戸時代から豊かな河内の地域にはモノを生み出すこと、日常の生活風習、信仰などさまざまなどころで独自の文化が生まれていました。ちょっと前までなら日常的に眼にするものも多くありました。このコースでは高度経済成長期以前の河内の人々の生活文化について考えます。

- 5月23日 今東光が描く河内人の世界  
伊東 健(八尾市役所)
- 6月27日 河内人の生活文化  
伊藤 廣之(元大阪歴史博物館)
- 7月25日 生駒の神々  
小林 義孝(摂河泉地域文化研究所)
- 8月22日 踏車の生産とひろがり  
橋本 貴明(長岡京市役所)
- 9月26日 河内木綿と藍染め  
中井 由榮(河内木綿はたおり工房)  
河内木綿の盛衰  
小林 義孝(摂河泉地域文化研究所)

午後2時～4時

初回一括 2,500円 1回のみ600円

ポイント制  
あります

会場 アクロス4F  
特別会議室

定員 各50人

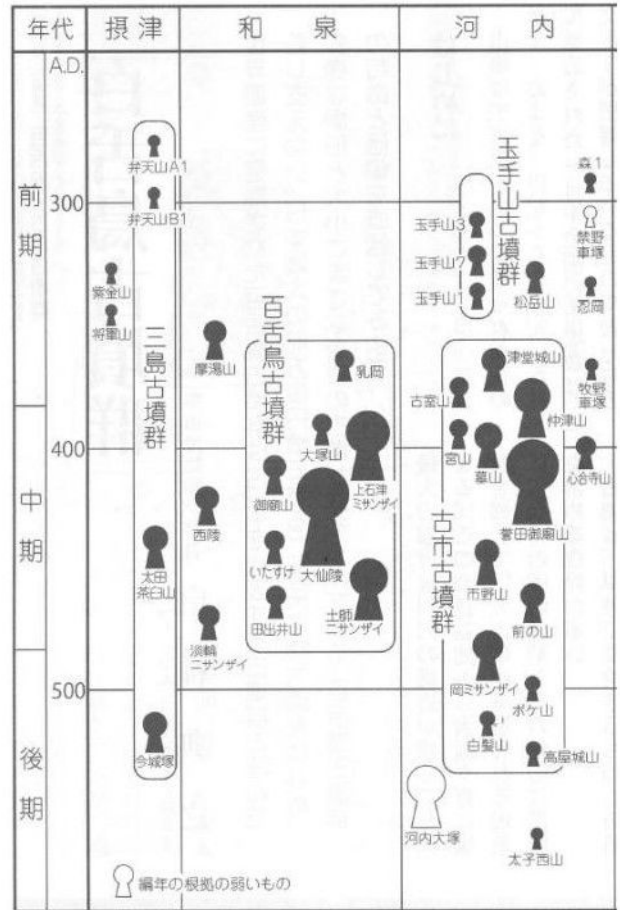
申込 4月6日より受付開始

お申込み・お問い合わせ  
 大東市立生涯学習センター **アクロス**  
 〒574-0036 大阪府大東市末広町1-301  
 ローレルスクエア住道サンタワー内※JR住道駅南側高層マンション内  
 TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405  
 E-mail: info@daito-across.jp HP: 「大東 アクロス」で検索  
 開館時間: 午前9時～午後10時 休館日: 第2木曜日  
 ■当センターの駐輪場は狭いのでなるべく公共交通機関や徒歩でお越し下さい。

# 講座の主な内容

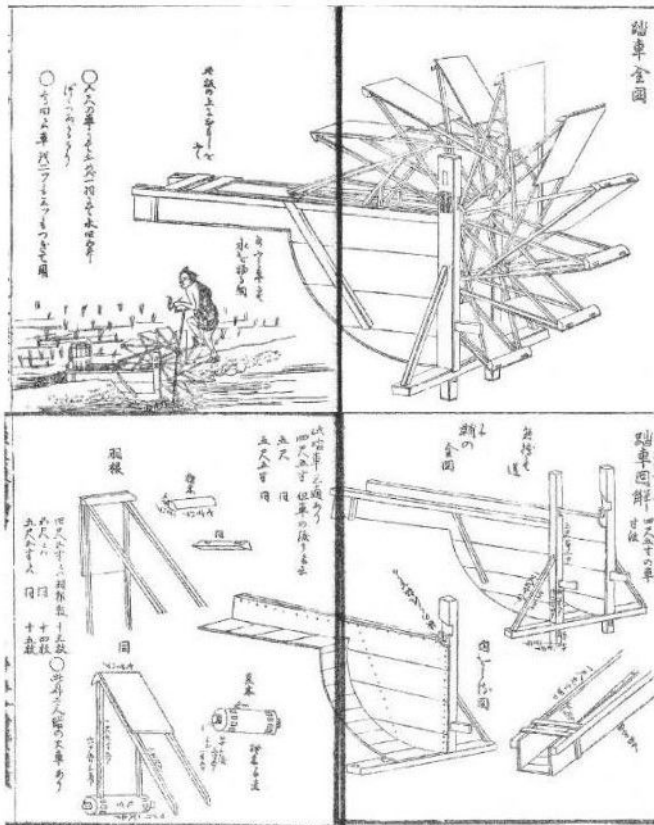
## 北河内の古墳と古墳群

昨年、百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に選定されて、大阪の古墳と古墳群に注目が集まっています。巨大な前方後円墳は、日本列島に割拠した勢力の関係を示し、地域の中のさまざまな形と大きさの古墳は当時の地域社会の姿を表します。今回の講座では大東市を中心とする北河内の個性的な古墳と古墳群を紹介して、多様な角度から分析し、この地域の古墳時代の特性について整理します。さらに河内湖の湖岸に展開していたこの地域は、朝鮮半島との関係が深く、かの地で発見された前方後円墳の問題も射程に入れながら、東アジアの世界におけるこの地域の古墳について考えます。



## 河内人の生活文化

河内の地域は豊かな農業生産力を持ち、大坂のまちの近郊として発展しました。綿作は稲作の三倍の収益が上がるとされ、年貢として納める米を購入していたといわれます。領主様の〈搾取〉におびえる農民の姿とは無縁な世界が河内には展開していました。そこで培われたさまざまな人々の生活の中から生まれた文化について考えます。〈河内の百姓は楠公さんの家来の子孫だ〉という人々の思い、生駒の神仏に求めるもの、土地柄から用いられた特異なモノ、そんなちょっと前までわたしたちの日常のなかにあった人々の生活と文化を紹介します。



会場案内

**最寄り駅(JR住道駅)からのアクセス方法 3F受付に直結**

- JR学研都市線「住道駅」で下車。
- ALBI側改札口を出て、書店奥(西)通路に出る。
- 通路左(南)のガラスのドアを出て、連絡橋を渡るとアクロスがあります。